

**委託事業実施内容報告書**  
**平成30年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業**  
**【地域日本語教育実践プログラム(B)】**

**実施内容報告書**

団体名: 駒ヶ根市

**1. 事業の概要**

事業名称	駒ヶ根市日本語教育事業
事業の目的	市及び市民団体が運営する日本語教室の連携と質の向上を図り、効果的な日本語教育環境を構築することで、日本語を母語としない外国籍住民が日本語を習得し、地域住民とコミュニケーションをとることができるようになることで、地域住民と外国籍住民とが円滑な市民生活を送る。講座を通じて地域住民と外国籍住民の接触の機会を創出することで、外国籍住民の孤立を防止し、相互の生活や文化の理解を図り、安心して住むことができる多文化共生のまちづくりをめざす。
日本語教育活動に関する地域の実情・課題	当市の人口は約32,000人でそのうち外国籍住民の人口は約610人である。リーマンショック以降、減少を続けていた外国籍住民の人口も、製造業を中心とした仕事量の増加と労働者不足により増加傾向にあり地域住民と外国籍住民が円滑に社会生活を送ることができる多文化共生社会実現のために日本語教育に対する双方からの期待は高い。その中で当市の実質的な日本語教育は市民ボランティア団体「地球人ネットワークinこまがね」が担っており、前年度までの取り組みによりボランティアの指導スキルの向上や、関係団体との連携が進んでいる。しかしながら外国籍住民が増加する中でボランティアの数が不足しレベルに応じたきめ細やかな指導が提供できないこともあり、更なる人材の確保と育成、安定的な組織の運営が課題であった。今年度の取り組みによりボランティアの数は増加したが、ボランティア数の増加以上に学習者の増加が著しく、依然としてボランティアは不足している。今年度、初めて先進地視察をしたことで、来年度からの教室運営の見直しの契機となった。
事業内容の概要	まず課題として挙げられた地域住民と外国籍住民の双方からの「多文化共生社会の実現」を解決するために、市内の日本語教育団体と連携し、日本語教育を実施した(取組1～3)。また、そこでの人材育成、や人材のスキルアップの課題を解決するため人材の育成にも取り組んだ(取組4～5)。 (取組1)「地球人ネットワークinこまがね」による日本語教室の開設 定期的に行われている日本語教育ボランティア団体「地球人ネットワークinこまがね」の日本語教室を継続した。 (取組2)生活情報学習教室 生活に必要な日本語を学習し、社会生活を円滑にすることで、地域住民との共生を図った。 (取組3)公民館で地域住民と学ぶ日本語教室 各講座にテーマを設けることにより無理なく日本語に接することができる機会を提供し、外国籍住民が日本語学習に取り組むきっかけとなった。 (取組4)日本語教育ボランティア人材・組織の育成 基礎的な日本語教授法について講座を開講することで日本語教育のボランティアを始めやすい環境を整備した。すでに、日本語教育を行っているボランティアのスキルを向上させた。先進地視察をすることで教室運営の見直しの契機となった。 (取組5)日本語学習発表会 積極的に住民に対して当市の日本語教育の現状を発信することで、住民の日本語教育に対する理解を促し、新規のボランティアを獲得した。 また、取り組みを効果的に広報するために市がそれぞれの取り組みについてウェブサイトなどを通じて一体的に発信した。また、それぞれの取り組みについて各団体が共有できるよう市が仲介した。日本語教室では日本語の体系的な理解、公民館の講座ではコミュニケーションを通じた日本語の理解といった、それぞれの役割を明確化し、より効果的な日本語学習になるよう努めた。
事業の実施期間	平成30年5月～平成31年3月(11か月間)

**2. 事業の実施体制**

**(1) 運営委員会**

【運営委員】

1	有賀 秀樹	駒ヶ根協力隊を育てる会・会長
2	春原 直美	佐久市市民活動サポートセンター・事務局長
3	宮越 幸代	長野県看護大学・准教授
4	高森 アナ	地球人ネットワークinこまがね・会長
5	櫻井 庸一	地球人ネットワークinこまがね・日本語指導部長
6	井上 理絵子	地球人ネットワークinこまがね・事務局
7	石場 八重子	駒ヶ根市・ポルトガル語相談員
8	古川 裕子	地域住民・元日系社会ボランティア
9	小松 民敏	駒ヶ根市赤穂公民館・館長
10		



【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題及び検討内容
1	平成30年7月19日 (木) 10:00～12:00	2時間	駒ヶ根市役所	有賀秀樹、春原直美、宮越幸代、高森アナ、櫻井庸一、井上理絵子、石場八重子、小松民敏	1. 平成30年度事業説明、意見交換 2. 平成31年度からの運営体制、実施事業について意見交換 3. 市内、県内、全国の外国籍住民の状況について情報共有
2	平成30年12月18日 (火) 10:00～12:00	2時間	駒ヶ根市役所	有賀秀樹、春原直美、高森アナ、櫻井庸一、井上理絵子、石場八重子	1. 平成30年度事業実施状況報告 2. 平成31年度からの運営体制、実施事業について検討経緯の報告
3	平成31年3月13日 (水) 14:00～16:00	2時間	駒ヶ根市役所	有賀秀樹、春原直美、宮越幸代、高森アナ、櫻井庸一、井上理絵子、石場八重子、古川裕子、小松民敏	1. 平成30年度事業実績報告 2. 平成31年度からの運営体制、実施事業について報告 3. 市内、県内、全国の外国籍住民の状況について情報共有

**(2) 地域における関係機関・団体等との連携・協力**

連携体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駒ヶ根市企画振興課(関係団体との連絡調整、ボランティア研修開催、募集広報)</li> <li>・赤穂公民館(日本語講座の実施、外国籍住民と地域住民との交流)</li> <li>・地球人ネットワークinこまがね(日本語習得教室の開催、外国籍住民に対する生活情報の提供、外国籍住民と地域住民との交流)</li> <li>・長野県看護大学(学生ボランティアの本事業への参加)</li> <li>・長野県国際課(県内の外国籍住民の情報共有、多文化共生事業の開催)</li> <li>・青年海外協力隊、青年海外協力協会(駒ヶ根青年海外協力隊訓練所で訓練を受ける候補者のスキル及び元協力隊員の人材を活用)</li> </ul>
------	---

**(3) 中核メンバー及び関係機関・団体による本事業の実施体制**

本事業の実施体制	<p>【コーディネーター】 市、県、関係機関と、地域の外国籍住民の実情の情報共有を密に行い、外国籍住民の日本語教育に対するニーズを把握した。把握したニーズを日本語教育実施団体等と共有し、ニーズに即した体制の構築を目指すと同時に、日本語教育実施団体がその取り組みを継続できるように会員拡大のための広報やボランティアのスキルアップのための研修の開催、関係機関との連携促進などの支援を行った。</p> <p>【指導者】 日本語教室を運営し、コーディネーターと現場の状況を情報共有した。</p> <p>【事業担当者】 取組の企画と運営を行い、コーディネーターと現場の状況を情報共有した。</p>
----------	---

3. 各取組の報告

＜取組1＞												
取組の名称	「地球人ネットワークinこまがね」による日本語教室の開設											
取組の目標	【学習者のニーズに応じた日本語指導・外国籍住民が参加しやすい教室運営】 ・日本語で不自由なく意思の疎通は図れるが、読み書きに難しさを感じる、比較的日本での在住期間が長い学習者のための指導を行うことで、自立した生活に必要な日本語習得を目指す。 ・日本語の勉強を始めて日が浅い学習者でも学びやすい初学者向けの指導を行い、基礎的な日本語力の習得を目指す。											
取組の内容	【参加者の語学力とニーズに応じた日本語指導】 ・レベル分けは、当日の参加者の顔ぶれで判断した。 ・参加者のレベルに合わせてチラシや郵便物、家電製品、教室所のテキストなど身近にある日本語をテーマに使用した。受講者の学習ニーズは年々多様化しているため、教案の蓄積と指導ボランティア間での情報共有を密に行った。											
<input type="checkbox"/>	空白地域を含む場合、空白地域での活動											
取組による体制整備	・市主体の体制ではなく、ボランティアが主体の教室運営を促し、組織運営を強化した。 ・市は「地球人ネットワークinこまがね」の活動を活性化できるよう、会場の手配や託児の手配、必要物品の購入支援を行った。 ・県内市町村及び県外の多文化共生推進に取り組み組織との連携を図れるように、面識・人脈を得る機会を設定した。											
取組による日本語能力の向上	・日本語学習歴の短い学習者は、まず対面式で日本人と学習することで実際の日本語に慣れ、その後の学習や職場でのコミュニケーションが円滑になった。 ・永住者や日本人の配偶者等の一定の日本語力のある学習者は、会話よりも読み書き中心に学び、生活に必要な文書類（行政文書・学校からの便り）への理解が深まった。 ・地域の外国籍住民が「地球人ネットワークinこまがね」の運営に参画しているため、外国籍住民の相談窓口のような拠り所としても機能している。そのため、日本語の文法知識だけではなく、日本語での地域生活情報を学ぶこともできた。											
参加対象者	・駒ヶ根市及び近隣市町村に在住・在勤の外国籍住民 ・「地球人ネットワークinこまがね」所属のボランティア					参加者数 (内 外国人数)		77人(52人)				
広報及び募集方法	・「地球人ネットワークinこまがね」のウェブサイト及びフェイスブックでの情報発信 ・市のウェブサイト、フェイスブック、広報紙での情報発信 ・各種イベントでの情報発信											
開催時間数	総時間 190.5時間					内訳 1.5時間 × 127回						
主な連携・協働先	・駒ヶ根市(市民ボランティア団体との連携、広報、市内外国籍住民の情報) ・長野県看護大学(多文化共生看護学履修の学生の参加) ・JICA駒ヶ根(教室の活性化、ボランティアのスキルアップ)											
受講者の出身(ルーツ)・国別内訳(人)	中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	タイ	インドネシア	ペルー	フィリピン	日本		
	3	0	6	11	0	5	4	5	7	25		
※該当する場合のみ												
ミャンマー(5人)、スリランカ(3人)、モロッコ(1人)、カンボジア(1人)、アメリカ(1人)												
実施内容												
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修のテーマ	授業概要	ボランティア数	補助者・発表者・会議出席者等名				
1	平成30年4月3日(火) 13:30~15:00	1.5	ボランティアセンター	2	自己紹介	マンツーマン学習支援 自己紹介、学習の目標	2	-				
2	平成30年4月4日(水) 19:00~20:30	1.5	ボランティアセンター	2	自己紹介	マンツーマン学習支援 自己紹介、学習の目標	5	-				
3	平成30年4月7日(土) 10:00~11:30	1.5	ボランティアセンター	3	自己紹介	マンツーマン学習支援 自己紹介、学習の目標	12	-				
4	平成30年4月10日(火) 13:30~15:00	1.5	ボランティアセンター	2	文法入門	マンツーマン学習支援 動詞の活用	4	-				
5	平成30年4月11日(水) 19:00~20:30	1.5	ボランティアセンター	2	やさしい漢字	マンツーマン学習支援 生活に潜む漢字を理解する(トイレ)	3	-				
6	平成30年4月14日(土) 10:00~11:30	1.5	ふれあいセンター 食堂	10	生活に必要な会話	マンツーマン学習支援 グループ学習支援 自己紹介、挨拶	6	-				
7	平成30年4月17日(火) 13:30~15:00	1.5	ボランティアセンター	2	文法入門	マンツーマン学習支援 動詞の活用	4	-				
8	平成30年4月18日(水) 19:00~20:30	1.5	ボランティアセンター	5	やさしい漢字	マンツーマン学習支援 生活に潜む漢字を理解する(トイレ)	6	-				
9	平成30年4月21日(土) 10:00~11:30	1.5	ボランティアセンター	9	生活に必要な会話	マンツーマン学習支援 自己紹介、挨拶	9	-				
10	平成30年4月24日(火) 13:30~15:00	1.5	ボランティアセンター	0			3	-				
11	平成30年4月25日(水) 19:00~20:30	1.5	ボランティアセンター	3	やさしい漢字	マンツーマン学習支援 生活に潜む漢字を理解する(ATM)	5	-				
12	平成30年4月28日(土) 10:00~11:30	1.5	ふれあいセンター 食堂	8	生活に必要な会話	マンツーマン学習支援 買い物(スーパー)	9	-				
13	平成30年5月8日(火) 13:30~15:00	1.5	ボランティアセンター	3	文法入門	マンツーマン学習支援 動詞の活用	3	-				

14	平成30年5月9日(水) 19:00~20:30	1.5	ボランティアセンター	3	やさしい漢字	マンツーマン学習支援 生活に潜む漢字を理解する(ATM)	5	-
15	平成30年5月12日(土) 10:00~11:30	1.5	ボランティアセンター	12	生活に必要な会話	マンツーマン学習支援 グループ学習支援 買い物(スーパー)	9	-
16	平成30年5月15日(火) 13:30~15:00	1.5	ボランティアセンター	2	文法入門	マンツーマン学習支援 動詞の活用	3	-
17	平成30年5月16日(水) 19:00~20:30	1.5	ボランティアセンター	3	やさしい漢字	マンツーマン学習支援 生活に潜む漢字を理解する(ATM)	4	-
18	平成30年5月19日(土) 10:00~11:30	1.5	ふれあいセンター 食堂	8	生活に必要な会話	マンツーマン学習支援 買い物(コンビニ)	7	-
19	平成30年5月22日(火) 13:30~15:00	1.5	ボランティアセンター	2	文法入門	マンツーマン学習支援 動詞の活用	3	-
20	平成30年5月23日(水) 19:00~20:30	1.5	ボランティアセンター	3	やさしい漢字	マンツーマン学習支援 生活に潜む漢字を理解する(家電)	5	-
21	平成30年5月26日(土) 10:00~11:30	1.5	ふれあいセンター 食堂	13	生活に必要な会話	マンツーマン学習支援 グループ学習支援 買い物(コンビニ)	7	-
22	平成30年5月29日(火) 13:30~15:00	1.5	ボランティアセンター	2	文法入門	マンツーマン学習支援 動詞の活用	3	-
23	平成30年5月30日(水) 19:00~20:30	1.5	ボランティアセンター	4	やさしい漢字	マンツーマン学習支援 生活に潜む漢字を理解する(家電)	6	-
24	平成30年6月2日(土) 10:00~11:30	1.5	ボランティアセンター	5	生活に必要な会話	マンツーマン学習支援 買い物(コンビニ)	5	-
25	平成30年6月5日(火) 13:30~15:00	1.5	ボランティアセンター	2	文法入門	マンツーマン学習支援 動詞の活用	3	-
26	平成30年6月6日(水) 19:00~20:30	1.5	ボランティアセンター	5	やさしい漢字	マンツーマン学習支援 生活に潜む漢字を理解する(家電)	5	-
27	平成30年6月9日(土) 10:00~11:30	1.5	ボランティアセンター	8	生活に必要な会話	マンツーマン学習支援 病院	6	-
28	平成30年6月12日(火) 13:30~15:00	1.5	ボランティアセンター	2	文法入門	マンツーマン学習支援 動詞の活用	4	-
29	平成30年6月13日(水) 19:00~20:30	1.5	ボランティアセンター	6	やさしい漢字	マンツーマン学習支援 生活に潜む漢字を理解する(家電)	4	-
30	平成30年6月16日(土) 10:00~11:30	1.5	ふれあいセンター 食堂	9	生活に必要な会話	マンツーマン学習支援 グループ学習支援 病院	5	-
31	平成30年6月19日(火) 13:30~15:00	1.5	ボランティアセンター	3	文法入門	マンツーマン学習支援 動詞の活用	2	-
32	平成30年6月20日(水) 19:00~20:30	1.5	ボランティアセンター	2	やさしい漢字	マンツーマン学習支援 生活に潜む漢字を理解する(家電)	3	-
33	平成30年6月23日(土) 10:00~11:30	1.5	ボランティアセンター	7	生活に必要な会話	マンツーマン学習支援 病院	11	-
34	平成30年6月26日(火) 13:30~15:00	1.5	ボランティアセンター	3	文法入門	マンツーマン学習支援 動詞の活用	4	-
35	平成30年6月27日(水) 19:00~20:30	1.5	ボランティアセンター	8	やさしい漢字	マンツーマン学習支援 グループ学習支援 生活に潜む漢字を理解する(家電)	4	-
36	平成30年6月30日(土) 10:00~11:30	1.5	ボランティアセンター	7	生活に必要な会話	マンツーマン学習支援 病院	5	-
37	平成30年7月3日(火) 13:30~15:00	1.5	ボランティアセンター	2	文法入門	マンツーマン学習支援 過去形	3	-
38	平成30年7月4日(水) 19:00~20:30	1.5	ボランティアセンター	2	やさしい漢字	マンツーマン学習支援 生活に潜む漢字を理解する(看板)	5	-
39	平成30年7月7日(土) 10:00~11:30	1.5	ボランティアセンター	5	生活に必要な会話	マンツーマン学習支援 ホテル	6	-
40	平成30年7月10日(火) 13:30~15:00	1.5	ボランティアセンター	4	文法入門	マンツーマン学習支援 過去形	2	-
41	平成30年7月11日(水) 19:00~20:30	1.5	ボランティアセンター	7	やさしい漢字	マンツーマン学習支援 生活に潜む漢字を理解する(看板)	5	-
42	平成30年7月14日(土) 10:00~11:30	1.5	ボランティアセンター	8	生活に必要な会話	マンツーマン学習支援 ホテル	8	-
43	平成30年7月17日(火) 13:30~15:00	1.5	ボランティアセンター	4	文法入門	マンツーマン学習支援 過去形	3	-
44	平成30年7月18日(水) 19:00~20:30	1.5	ボランティアセンター	6	やさしい漢字	マンツーマン学習支援 生活に潜む漢字を理解する(看板)	5	-
45	平成30年7月21日(土) 10:00~11:30	1.5	ボランティアセンター	8	生活に必要な会話	マンツーマン学習支援 電話で予約	8	-

46	平成30年8月18日(土) 10:00~11:30	1.5	ボランティアセンター	4	生活に必要な会話	マンツーマン学習支援 グループ学習支援 電話で予約	2	-
47	平成30年8月21日(火) 13:30~15:00	1.5	ボランティアセンター	2	文法入門	マンツーマン学習支援 過去形	2	-
48	平成30年8月22日(水) 19:00~20:30	1.5	ボランティアセンター	1	やさしい漢字	マンツーマン学習支援 生活に潜む漢字を理解する(看板)	3	-
49	平成30年8月25日(土) 10:00~11:30	1.5	ボランティアセンター	5	生活に必要な読み	マンツーマン学習支援 看板	5	-
50	平成30年8月28日(火) 13:30~15:00	1.5	ボランティアセンター	2	文法入門	マンツーマン学習支援 過去形	2	-
51	平成30年8月29日(水) 19:00~20:30	1.5	ボランティアセンター	3	やさしい漢字	マンツーマン学習支援 学校のお便りを理解する	4	-
52	平成30年9月1日(土) 10:00~11:30	1.5	ボランティアセンター	5	生活に必要な読み	マンツーマン学習支援 看板	4	-
53	平成30年9月4日(火) 13:30~15:00	1.5	ボランティアセンター	2	文法入門	マンツーマン学習支援 丁寧な言葉	2	-
54	平成30年9月5日(水) 19:00~20:30	1.5	ボランティアセンター	5	やさしい漢字	マンツーマン学習支援 学校のお便りを理解する	4	-
55	平成30年9月8日(土) 10:00~11:30	1.5	ボランティアセンター	3	生活に必要な読み	マンツーマン学習支援 看板	7	-
56	平成30年9月11日(火) 13:30~15:00	1.5	ボランティアセンター	3	文法入門	マンツーマン学習支援 丁寧な言葉	3	-
57	平成30年9月12日(水) 19:00~20:30	1.5	ボランティアセンター	4	やさしい漢字	マンツーマン学習支援 学校のお便りを理解する	2	-
58	平成30年9月15日(土) 10:00~11:30	1.5	ボランティアセンター	3	生活に必要な読み	マンツーマン学習支援 看板	5	-
59	平成30年9月18日(火) 13:30~15:00	1.5	ボランティアセンター	3	文法入門	マンツーマン学習支援 丁寧な言葉	2	-
60	平成30年9月19日(水) 19:00~20:30	1.5	ボランティアセンター	6	やさしい漢字	マンツーマン学習支援 学校のお便りを理解する	4	-
61	平成30年9月22日(土) 10:00~11:30	1.5	ボランティアセンター	13	生活に必要な読み	マンツーマン学習支援 グループ学習支援 家電操作	4	-
62	平成30年9月25日(火) 13:30~15:00	1.5	ボランティアセンター	2	文法入門	マンツーマン学習支援 丁寧な言葉	1	-
63	平成30年9月26日(水) 19:00~20:30	1.5	ボランティアセンター	2	やさしい漢字	マンツーマン学習支援 学校のお便りを理解する	3	-
64	平成30年9月29日(土) 10:00~11:30	1.5	ボランティアセンター	6	生活に必要な読み	マンツーマン学習支援 家電操作	7	-
65	平成30年10月2日(火) 13:30~15:00	1.5	ボランティアセンター	2	文法入門	マンツーマン学習支援 丁寧な言葉	1	-
66	平成30年10月3日(水) 19:00~20:30	1.5	ボランティアセンター	8	やさしい漢字	マンツーマン学習支援 グループ学習支援 レシピを理解する	4	-
67	平成30年10月6日(土) 10:00~11:30	1.5	ボランティアセンター	8	生活に必要な読み	マンツーマン学習支援 グループ学習支援 家電操作	4	-
68	平成30年10月9日(火) 13:30~15:00	1.5	ボランティアセンター	3	文法入門	マンツーマン学習支援 丁寧な言葉	2	-
69	平成30年10月10日(水) 19:00~20:30	1.5	ボランティアセンター	4	やさしい漢字	マンツーマン学習支援 レシピを理解する	4	-
70	平成30年10月13日(土) 10:00~11:30	1.5	ボランティアセンター	5	生活に必要な読み	マンツーマン学習支援 家電操作	6	-
71	平成30年10月16日(火) 13:30~15:00	1.5	ボランティアセンター	2	文法入門	マンツーマン学習支援 丁寧な言葉	2	-
72	平成30年10月17日(水) 19:00~20:30	1.5	ボランティアセンター	10	やさしい漢字	マンツーマン学習支援 レシピを理解する	5	-
73	平成30年10月20日(土) 10:00~11:30	1.5	ボランティアセンター	4	生活に必要な読み	マンツーマン学習支援 家電操作	5	-
74	平成30年10月23日(火) 13:30~15:00	1.5	ボランティアセンター	3	文法入門	マンツーマン学習支援 丁寧な言葉	2	-
75	平成30年10月24日(水) 19:00~20:30	1.5	ボランティアセンター	6	やさしい漢字	マンツーマン学習支援 レシピを理解する	4	-
76	平成30年10月27日(土) 10:00~11:30	1.5	ボランティアセンター	8	生活に必要な書き	マンツーマン学習支援 グループ学習支援 住所	4	-
77	平成30年10月30日(火) 13:30~15:00	1.5	ボランティアセンター	2	文法入門	マンツーマン学習支援 丁寧な言葉	2	-

78	平成30年10月31日(水) 19:00~20:30	1.5	ボランティアセン ター	4	やさしい漢字	マンツーマン学習支援 レシピを理解する	4	-
79	平成30年11月3日(土) 10:00~11:30	1.5	ボランティアセン ター	8	生活に必要な書き	マンツーマン学習支援 グループ学習支援 住所	2	-
80	平成30年11月6日(火) 13:30~15:00	1.5	ボランティアセン ター	2	文法入門	マンツーマン学習支援 丁寧な言葉	2	-
81	平成30年11月7日(水) 19:00~20:30	1.5	ボランティアセン ター	7	やさしい漢字	マンツーマン学習支援 グループ学習支援 チラシを理解する	3	-
82	平成30年11月10日(土) 10:00~11:30	1.5	ボランティアセン ター	11	生活に必要な書き	マンツーマン学習支援 グループ学習支援 申込書	5	-
83	平成30年11月13日(火) 13:30~15:00	1.5	ボランティアセン ター	3	文法入門	マンツーマン学習支援 丁寧な言葉	1	-
84	平成30年11月14日(水) 19:00~20:30	1.5	ボランティアセン ター	6	やさしい漢字	マンツーマン学習支援 チラシを理解する	5	-
85	平成30年11月17日(土) 10:00~11:30	1.5	ボランティアセン ター	6	生活に必要な書き	マンツーマン学習支援 グループ学習支援 申込書	3	-
86	平成30年11月20日(火) 13:30~15:00	1.5	ボランティアセン ター	5	文法入門	マンツーマン学習支援 丁寧な言葉	2	-
87	平成30年11月21日(水) 19:00~20:30	1.5	ボランティアセン ター	5	やさしい漢字	マンツーマン学習支援 チラシを理解する	4	-
88	平成30年11月24日(土) 10:00~11:30	1.5	ボランティアセン ター	10	生活に必要な書き	マンツーマン学習支援 グループ学習支援 申込書	7	-
89	平成30年11月27日(火) 13:30~15:00	1.5	ボランティアセン ター	4	文法入門	マンツーマン学習支援 丁寧な言葉	1	-
90	平成30年11月28日(水) 19:00~20:30	1.5	ボランティアセン ター	6	やさしい漢字	マンツーマン学習支援 チラシを理解する	6	-
91	平成30年12月1日(土) 10:00~11:30	1.5	ボランティアセン ター	8	生活に必要な書き	マンツーマン学習支援 グループ学習支援 申込書	5	-
92	平成30年12月4日(火) 13:30~15:00	1.5	ボランティアセン ター	2	文法入門	マンツーマン学習支援 丁寧な言葉	1	-
93	平成30年12月5日(水) 19:00~20:30	1.5	ボランティアセン ター	6	やさしい漢字	マンツーマン学習支援 グループ学習支援 郵便物を理解する	3	-
94	平成30年12月8日(土) 10:00~11:30	1.5	ボランティアセン ター	12	生活に必要な会話	マンツーマン学習支援 グループ学習支援	8	-
95	平成30年12月11日(火) 13:30~15:00	1.5	ボランティアセン ター	0			2	-
96	平成30年12月12日(水) 19:00~20:30	1.5	ボランティアセン ター	3	やさしい漢字	マンツーマン学習支援 郵便物を理解する	4	-
97	平成30年12月15日(土) 10:00~11:30	1.5	ボランティアセン ター	10	生活に必要な読み	マンツーマン学習支援 グループ学習支援 受け取った郵便物	5	-
98	平成31年1月8日(火) 13:30~15:00	1.5	ボランティアセン ター	2	文法入門	マンツーマン学習支援 丁寧な言葉	3	-
99	平成31年1月9日(水) 19:00~20:30	1.5	ボランティアセン ター	2	やさしい漢字	マンツーマン学習支援 郵便物を理解する	4	-
100	平成31年1月12日(土) 10:00~11:30	1.5	ボランティアセン ター	16	生活に必要な読み	マンツーマン学習支援 グループ学習支援 受け取った郵便物	8	-
101	平成31年1月15日(火) 13:30~15:00	1.5	ボランティアセン ター	4	文法入門	マンツーマン学習支援 慣用句	2	-
102	平成31年1月16日(水) 19:00~20:30	1.5	ボランティアセン ター	10	やさしい漢字	グループ学習支援 郵便物を理解する	5	-
103	平成31年1月19日(土) 10:00~11:30	1.5	ボランティアセン ター	15	生活に必要な読み	マンツーマン学習支援 グループ学習支援 受け取った郵便物	8	-
104	平成31年1月22日(火) 13:30~15:00	1.5	ボランティアセン ター	5	文法入門	マンツーマン学習支援 慣用句	2	-
105	平成31年1月23日(水) 19:00~20:30	1.5	ボランティアセン ター	3	やさしい漢字	マンツーマン学習支援 郵便物を理解する	3	-
106	平成31年1月26日(土) 10:00~11:30	1.5	ボランティアセン ター	13	生活に必要な読み	グループ学習支援 受け取った郵便物	2	-
107	平成31年1月29日(火) 13:30~15:00	1.5	ボランティアセン ター	4	文法入門	グループ学習支援 慣用句	2	-
108	平成31年1月30日(水) 19:00~20:30	1.5	ボランティアセン ター	15	やさしい漢字	グループ学習支援 郵便物を理解する	4	-
109	平成31年2月2日(土) 10:00~11:30	1.5	ボランティアセン ター	10	生活に必要な表現	グループ学習支援 慣用句	4	-

110	平成31年2月5日(火) 13:30~15:00	1.5	ボランティアセン ター	1	文法入門	マンツーマン学習支援 慣用句	2	-
111	平成31年2月6日(水) 19:00~20:30	1.5	ボランティアセン ター	22	やさしい漢字	グループ学習支援 郵便物を理解する	8	-
112	平成31年2月9日(土) 10:00~11:30	1.5	ボランティアセン ター	18	生活に必要な表現	グループ学習支援 慣用句	5	-
113	平成31年2月12日(火) 13:30~15:00	1.5	ボランティアセン ター	1	文法入門	マンツーマン学習支援 慣用句	2	-
114	平成31年2月13日(水) 19:00~20:30	1.5	ボランティアセン ター	18	スピーチ	グループ学習支援 日本語スピーチ練習	8	-
115	平成31年2月16日(土) 10:00~11:30	1.5	ボランティアセン ター	17	スピーチ	グループ学習支援 日本語スピーチ練習	7	-
116	平成31年2月19日(火) 13:30~15:00	1.5	ボランティアセン ター	2	スピーチ	マンツーマン学習支援 日本語スピーチ練習	1	-
117	平成31年2月20日(水) 19:00~20:30	1.5	ふれあいセン ター 食堂	24	スピーチ	グループ学習支援 日本語スピーチ練習	7	-
118	平成31年2月23日(土) 10:00~11:30	1.5	ボランティアセン ター	16	スピーチ	グループ学習支援 日本語スピーチ練習	6	-
119	平成31年2月26日(火) 13:30~15:00	1.5	ボランティアセン ター	1	スピーチ	マンツーマン学習支援 日本語スピーチ練習	1	-
120	平成31年2月27日(水) 19:00~20:30	1.5	ふれあいセン ター 食堂	18	スピーチ	グループ学習支援 日本語スピーチ練習	9	-
121	平成31年3月2日(土) 10:00~11:30	1.5	ボランティアセン ター	12	スピーチ	マンツーマン学習支援 グループ学習支援 日本語スピーチ練習	8	-
122	平成31年3月5日(火) 13:30~15:00	1.5	ボランティアセン ター	1	スピーチ	マンツーマン学習支援 日本語スピーチ練習	2	-
123	平成31年3月6日(水) 19:00~20:30	1.5	ふれあいセン ター 食堂	22	スピーチ	グループ学習支援 日本語スピーチ練習	7	-
124	平成31年3月9日(土) 10:00~11:30	1.5	ボランティアセン ター	9	スピーチ	マンツーマン学習支援 グループ学習支援 日本語スピーチ練習	4	-
125	平成31年3月12日(火) 13:30~15:00	1.5	ボランティアセン ター	2	まとめ	マンツーマン学習支援 学習の振り返り、来年度の目標	1	-
126	平成31年3月13日(水) 19:00~20:30	1.5	ふれあいセン ター 食堂	21	まとめ	グループ学習支援 学習の振り返り、来年度の目標	8	-
127	平成31年3月16日(土) 10:00~11:30	1.5	ボランティアセン ター	13	まとめ	グループ学習支援 学習の振り返り、来年度の目標	7	-

(1) 特徴的な活動風景(2~3回分)

○取組事例①

【第42回 平成30年7月14日】

土曜日クラス。毎週10:00~11:30まで実施。この日は佐賀県基山町の職員と同町の日本語教育ボランティアの皆さんが視察に見えた。教室は土曜日のほかに火曜日の昼と、水曜日の夜に実施しているが、土曜日は学習者、ボランティア共に人数が一番多く教室に活気がある。この日は定住者には漢字の読み書きの学習を支援し、ベトナム人の企業内転勤者は運転免許の取得を目指しているとのことで運転免許取得のためのテキストを用いて学習を支援した。こういった、学習者のニーズに沿ったマンツーマンの学習支援を行っているが、ボランティアが不足する日はグループでの支援となる。この日は人数が多かったため、通常使用しているボランティアセンターでは足りず、併設するふれあいセンターの食堂を借りて教室を実施した。



○取組事例②

【第94回 平成30年12月8日】

土曜日クラス。この日は地元の高校生が多文化共生の実習課題の研究のため、見学にみえた。この日は人数が少なかったため、通常通りボランティアセンターにて教室を実施。ボランティアにも余裕があったため、学習支援をしないボランティアは学習者のお子さんの託児を行った。様々な世代や立場の学習者とボランティアが参加することで、日本で生活するための情報共有の場にもなっている。



(2) 目標の達成状況・成果

アンケートから約96%の学習者が事業参加前後と比較して日本語が「上手になったと思う」、「まあまあ上手になったと思う」と回答しており、本事業の効果が高かったことがうかがえる。また、日本での滞在期間が長い学習者と、来日して日が浅い学習者と日本語能力のレベルを分けてマンツーマン指導を行うことで、学習者それぞれのニーズに合った教室を運営することができ、100%の学習者がこの日本語教室の内容について「満足している」、「まあまあ満足している」と回答している。

(3) 今後の改善点について

企業の人手不足による外国籍住民の増加に伴い、日本語学習者が増加しているが、この地域で日本語教育を提供する機関が「地球人ネットワークinこまがね」しかないため、ボランティアの増加以上に学習者の増加が著しく、日によってはマンツーマン指導の対応ができないこともあった。また、増加した学習者のほとんどが技能実習生や企業内転勤者のため、教室の雰囲気が変わってしまい、従来より教室に通っていた学習者の足が遠のいてしまった。そのため、教室運営の見直しの必要がある。また、日によっては通常使用している施設(ボランティアセンター)では狭いため、併設するふれあいセンターを借用することもある。

＜取組2＞										
取組の名称	生活情報学習教室									
取組の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国籍住民からのニーズに沿った生活情報を学びながら、生活に必要な日本語を学習し地域生活を円滑化する。</li> <li>・学習の機会を通じて、いざという時に頼れる地域住民との交流を図る。</li> </ul>									
取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地球人ネットワークinこまがね」には、駒ヶ根市内外に暮らす外国籍住民が集まり、日本語学習だけでなく生活に必要な情報等も日本人ボランティアから学んでいる。そこで、彼らのニーズをくみ取り、外国籍住民に必要な生活情報について情報を得られるよう、専門家や通訳を交えた学習の場を設けた。これにより、今まで教室に來なかつた外国籍住民層を掘り起こし、そのニーズを把握すると共に、日本語学習に繋げた。</li> <li>・生活情報については、地域住民がより分かりやすくサポートできると考えられることから、住民同士が共通の生活情報について学ぶという場を意識して企画・実施した。</li> <li>・地域に暮らす外国籍住民の抱える不安やニーズを日本語指導ボランティアも理解することで、より受講者に寄り添った日本語指導・情報交換を促した。</li> </ul>									
<input type="checkbox"/>	空白地域を含む場合、空白地域での活動									
取組による体制整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国籍住民の学習ニーズに応えられる適切な専門家との連携した。</li> <li>・生活情報を分かりやすく住民同士で教えあい、助け合う上で、必要となる情報源を把握し、準備した。</li> <li>・青年海外協力隊候補者に学習を支援してもらった。</li> </ul>									
取組による日本語能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に居住する外国籍住民が日本で生活するうえで必要な文化などの情報や週間に関する日本語を学習することにより、生活の質の向上、地域社会への順応に寄与することができた。</li> <li>・有益な生活情報を得ることができる本事業を、日本語教室へ通うことをためらっている外国籍住民に周知し、日本語教室への参加につながった。</li> <li>・地域住民である講師やボランティアが、外国人の抱える悩みやニーズをより肌を感じることで、日本に暮らす外国人への理解が深まり日本語教室の質の向上へつながった。</li> </ul>									
参加対象者	駒ヶ根市及び近隣市町村に在住・在勤の外国籍住民 「地球人ネットワークinこまがね」所属のボランティア 青年海外協力隊候補者					参加者数 (内 外国人数)		79人(46人)		
広報及び募集方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地球人ネットワークinこまがね」のウェブサイト及びフェイスブックで情報発信した。</li> <li>・市のウェブサイト、フェイスブック、広報紙で情報発信した。</li> <li>・市と連携し、住民登録情報から市内在住の外国籍住民全員にチラシを送付した。</li> </ul>									
開催時間数	総時間 3時間					内訳 1.5時間 × 2回				
主な連携・協働先	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駒ヶ根市(市民ボランティア団体との連携、広報)</li> <li>・青年海外協力隊訓練所(訓練の一環として講師を務めてもらった)</li> </ul>									
受講者の出身 (ルーツ)・国別内 訳(人)	中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	タイ	インドネシア	ペルー	フィリピン	日本
	3	0	6	10	0	5	2	5	7	33
※該当する場合のみ ミャンマー(2人)、スリランカ(3人)、モロッコ(1人)、カンボジア(1人)、アメリカ(1人)										
実施内容										
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修のテーマ	授業概要		講師・指導者名	補助者・発表者・会議出席者等名	
1	平成30年7月28日(土) 14:00~15:30	1.5	ふれあいセンター	65	多文化共生の第一歩	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアと学習者合わせて5~6人のグループに分かれて、日本で生活するうえで疑問に感じていること不満に感じていることについて共有</li> <li>・解決策について意見交換</li> </ul>		安部 松澤 松原	宮下、小山田、北原(保育)	
2	平成31年3月3日(日) 15:30~17:00	1.5	駅前ビルアルバ	72	日本のお葬式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青年海外協力隊の候補者が葬儀場で葬儀の正式な所作について学習し、外国籍住民に教授</li> </ul>		上村、細川、 松本、道場	-	

(1) 特徴的な活動風景(2~3回分)

○取組事例①

【第1回 平成30年7月28日】

ボランティアと学習者合わせて5~6人のグループに分かれて、日本で生活するうえで疑問に感じていること不満に感じていることについて共有し、意見交換を行った。市と連携し、市に住民登録をしている外国籍全員にチラシを送付して、日本語教室を知らない層へも周知を行った。チラシも多言語で作成した。ハラルという言葉初めて耳にした日本人参加者もあり、相互理解が深まった。子ども連れの学習者もあり、託児を手配するなど、参加しやすい環境づくりを行った。



○取組事例②

【第2回 平成31年3月9日】

外国籍住民には経験はないが、生活者としては知っておくべき葬式に所作について講座を開いた。学習者から日本の葬式について学びたいと以前から要望があった。冠婚葬祭には普段は使うことのない日本語が多用されるが、それはマナーであるため「やさしい日本語」に置き換えることが難しい。そのため、固有名詞として覚えてもらうよう説明した。また、葬儀場より焼香の用具を借り、お焼香の体験も行った。青年海外協力隊の訓練所のカリキュラムに位置づけ、講師は青年海外協力隊の候補者が務めた。候補者は事前に葬儀場で自ら葬儀での所作を勉強し、学習者へ分かりやすく説明した。訓練所の所長や、ロータリークラブの会員の参加もあり、様々な方に日本語教育の現状について知ってもらった機会となった。



(2) 目標の達成状況・成果

日本人が知らない外国の文化や習慣、外国籍住民が知らない日本の文化や習慣をお互いに共有し、相互理解を深めることができた。葬式の講座については学習者からは非常にためになったという感想が多かった。厳かな雰囲気や決まった所作、マナーのある冠婚葬祭への参加は恐怖心すら覚えてしまい、長く日本に住む外国籍住民でさえ避けてきたが、改めて人に尋ねる機会も今までなかったため、こういった機会はまた開催してほしいとの声も聞かれた。また、青年海外協力隊員の訓練の一環として行っており、今後、任国で外国人として生活する彼らにとっても、良い訓練になった。

(3) 今後の改善点について

葬式の講座については学習者には大変好評であったが、多文化共生の第一歩と題した意見交換会は、情報共有の場としては効果はあったが、出された様々な意見をどのように扱うかを明確にすることができなかった。葬式講座のような具体的な講座を実施した方が、学習者にとっては有意義である。

＜取組3＞											
取組の名称	公民館で地域住民と学ぶ日本語教室										
取組の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な地域住民が集まりやすい赤穂公民館を会場にすることで、地域住民とのコミュニケーションを図る。また、地域住民との交流を通じて、日常の日本語会話力を高める。</li> <li>外国籍住民に関心が高い日本文化などをテーマとすることで、日常生活以外の多彩な日本語に触れる機会とする。</li> </ul>										
取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>料理教室など地域住民と外国籍住民が体験交流をする場を設定した。</li> <li>講師は地域住民が務めた。</li> <li>地域文化や地域の自然など、地域に密着したテーマの学習会を開催した。</li> </ul>										
<input type="checkbox"/>	空白地域を含む場合、空白地域での活動										
取組による体制整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>体験交流などを通じて地域住民と外国籍住民の交流が促進され、学習の場以外でのつながりができた。</li> <li>公民館へ登録している住民団体や県看護大学の学生との関係を構築し、多文化共生への理解を広範囲に促すことができた。</li> </ul>										
取組による日本語能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>受講者の関心の高い内容にすることで、興味を持ってもらい学習意欲を引き出すことができた。</li> <li>地域住民との日本語での情報交換の機会が増えることにより、会話力が向上した。</li> </ul>										
参加対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>駒ヶ根市及び近隣に在住・在勤する外国籍住民</li> <li>公民館職員、各種講座の講師、地域住民など</li> </ul>					参加者数 (内 外国人数)		27人(16人)			
広報及び募集方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>市のウェブサイト、フェイスブック、広報紙での情報発信</li> <li>各種イベントでの情報発信</li> </ul>										
開催時間数	総時間 12時間					内訳 2時間 × 6回					
主な連携・協働先	<ul style="list-style-type: none"> <li>駒ヶ根市(市民ボランティア団体との連携、広報)</li> <li>赤穂公民館(公民館講座の講師や専門家の講師依頼、事業の企画)</li> <li>長野県看護大学(多文化共生看護学履修の学生の参加)</li> </ul>										
受講者の出身 (ルーツ)・国別内 訳(人)	中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	タイ	インドネシア	ペルー	フィリピン	日本	
	5	0	3	0	0	1	1	2	3	11	
※該当する場合のみ	ロシア(1人)										
実施内容											
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修のテーマ	授業概要	講師・指導者名	補助者・発表者・会議出席者等名			
1	平成30年5月12日(土) 13:30~15:30	2	赤穂公民館	3	開講式	今年度事業について検討	原	-			
2	平成30年6月16日(土) 13:30~15:30	2	赤穂公民館	5	茶道、華道体験	茶道、華道を体験	森岡	-			
3	平成30年7月28日(土) 13:30~15:30	2	赤穂公民館	3	浴衣体験	浴衣の着付け方法について学習後、浴衣を着て地域のお祭りに参加	肥野木下	-			
4	平成30年8月25日(土) 13:30~15:30	2	赤穂公民館	4	折り紙	日本の生活に息づく折り紙を体験	中上	-			
5	平成30年9月15日(土) 13:30~15:30	2	赤穂公民館	6	「お月見」について	月見団子を調理し試食	下平坂田大藪	-			
6	平成30年10月20日(土) 13:30~15:30	2	赤穂公民館	3	「食欲の秋」について	旬の食材(サツマイモ)を使用した料理を調理し試食	赤澤横坂吉瀬	-			

(1) 特徴的な活動風景(2~3回分)

○取組事例①

【第4回 平成30年8月25日】

「折り紙」

「鶴の折り方をはじめとする折り紙について学びたい」という受講生の提案を受けて、開催。折り紙が得意な公民館利用者に講師を依頼。日本人になじみのある折り紙の折り方や、受講生からの要望に応じて折り紙の講座を開講した。



○取組事例②

【第5回、6回 平成30年9月15日、10月20日】

9/15「お月見」、10/20「食欲の秋」

日本の伝統行事である「お月見」と、日本独特の言葉「食欲の秋」について、調理実習を交えて学習した。9/15「お月見」ではお月見団子の調理、試食を行い、10/20「食欲の秋」では旬の作物である芋料理の調理、試食を行った。講師には長野県看護大学の多文化共生看護学を学ぶ学生にお願いし、学生たちにとっても外国籍住民と接する貴重な機会となった。



(2) 目標の達成状況・成果

外国籍住民の方に日本や地域の文化、風習等について、日本語を通じて理解を深める契機とし、講師である地域住民も含む参加者同士の交流の促進を目指してきた。

新しい参加者も見受けられ、受講生からは企画に関する提案も挙がるなど、講座が活性化され、おおむね好評であった。講師は、公民館を利用するサークルなどに声掛けをし、地域住民との交流をはかることが出来た。また、長野県看護大学 多文化共生看護学の実習として取り組まれる機会もあり、学生たちにとっても大変有意義であった。いずれの回も、講師陣の周到な準備により、和やかに進行が出来た。講師方からは、支援の姿勢や共生について改めて考えたとの感想を頂き、双方の学びの機会になったと感じる。

(3) 今後の改善点について

当市では公民館での教室以外にも外国籍住民との交流イベントが多く、日程の調整に苦慮する。また、対象となる外国籍住民にとっても毎週末のイベント参加に負担感を感じてしまわないか危惧している。他の事業にも参加している外国籍住民の率直な意見聴取を行う機会が必要である。

＜取組4＞												
取組の名称	日本語教育ボランティア人材・組織の育成											
取組の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駒ヶ根市外の地域で活動している諸団体、コーディネーターの方々に外国人を取り巻く環境や取組を紹介してもらい、個人のスキルアップのみならず、日本語教室の運営方法についても知見を深める。</li> <li>・既存、新規の日本語指導ボランティア双方が学べる日本語教授法の学習機会を提供する。</li> <li>・通年で定期的に開催し、日本語指導時にボランティアが抱えた疑問や悩みの相談の場とする。</li> <li>・既存のボランティアのレベルが上がることで、新規ボランティアへのより良い波及効果も狙う。</li> </ul>											
取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国籍住民を取り巻く環境、彼らとの関わり方、多文化共生のあり方を学んだ。</li> <li>・ボランティアの意識の在り方、ボランティア組織の運営手法を他事例などを基に学んだ。また、ボランティア組織運営上の課題などについて説明してもらい、意見交換を行った。日本語指導ボランティアとしてのあり方、外国籍住民との関わり方を学ぶと同時に、他組織の運営方法などへの理解も深め、個人・組織の活動充実に繋げた。</li> <li>・日本語の基礎的な教授法について学んだ。</li> <li>・教授法の知識のみではなく、日本語教室のファシリテーション、受講者との接し方などについて、模擬授業等を通じて習得した。</li> </ul>											
<input type="checkbox"/>	空白地域を含む場合、空白地域での活動											
取組による体制整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地球人ネットワークinこまがね(以下、「地球人NW」という。)」の抱える組織運営の課題や現状を聞き取り、彼らの活動を充実できるような内容に研修内容をアレンジした。</li> <li>・今までに複数回研修を受け持った講師とボランティア組織、個人間で自主的な情報交換が始まっている。これを更に枝葉を広げて、互助のコミュニケーションの形成を促した。</li> <li>・研修参加者が、「地球人NW」の日本語教室を実践の場として活用できるように、「地球人NW」関係者と繋がる場としても機能させた。</li> </ul>											
取組による日本語能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民ボランティアの指導力向上により、外国籍住民の日本語学習機会が拡大した。</li> <li>・指導力が向上することで、日本語教室受講者の満足度が高まった。受講者の出席率向上や新規受講者開拓へと繋がった。</li> </ul>											
参加対象者	駒ヶ根市及び近隣住民ボランティア					参加者数 (内 外国人数)		44人(8人)				
広報及び募集方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地球人ネットワークinこまがね」のウェブサイト及びフェイスブックでの情報発信</li> <li>・市のウェブサイト、フェイスブック、広報紙での情報発信 ・各種イベントでの情報発信</li> <li>・市内の保育園の保育士、幼稚園・小中学校の教諭へチラシの配布</li> </ul>											
開催時間数	総時間 26時間					内訳 3時間 × 8回 内訳 2時間 × 1回						
主な連携・協働先	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球人ネットワークinこまがね</li> <li>・JICA駒ヶ根</li> <li>・長野県看護大学</li> <li>・市内保育園、幼稚園、小中学校</li> </ul>											
受講者の出身 (ルーツ)・国別内訳(人)	中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	タイ	インドネシア	ペルー	フィリピン	日本		
	2	0	4	0	0	0	0	1	1	36		
※該当する場合のみ												
実施内容												
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修のテーマ	授業概要	講師・指導者名	補助者・発表者・会議出席者等名				
1	平成30年7月7日(土) 13:30~16:30	3	赤穂公民館	8	日本語教授法	・日本語を教える際に気を付けること	関井	-				
2	平成30年8月19日(日) 13:30~16:30	3	駅前ビルアルパ	13	日本語教授法	・なじみのない言語を勉強すること ・外国人としての生活経験から	関井 林田	-				
3	平成30年9月22日(土) 13:30~16:30	3	赤穂公民館	16	学習者のニーズを知ろう	・学習者のニーズを知る ・学習者の学習モチベーションを保つには ・支援者の目標設定	堀	-				
4	平成30年10月13日(土) 13:30~16:30	3	赤穂公民館	19	日本語支援の きほんの基・きぼうの希	・日本語支援のゴールとは ・現代における日本語支援の役割	春原(憲)	-				
5	平成30年11月17日(土) 13:30~16:30	3	赤穂公民館	15	日本語教授法	・学習者がつまづきやすいポイント①	関井	-				
6	平成30年12月8日(土) 13:30~16:30	3	赤穂公民館	20	やさしい日本語	・「やさしい日本語」とは ・「やさしい日本語」で会話する	寺島 服部	-				
7	平成31年1月19日(土) 13:30~16:30	3	赤穂公民館	15	日本語教授法	・学習者がつまづきやすいポイント②	関井	-				
8	平成31年2月2日(日) 13:30~15:30	2	赤穂公民館	8	県内の状況	・長野県内の外国籍住民の状況 ・長野県内の日本語教育の状況 ・改正入管法について	春原(直)	-				
9	平成31年3月3日(日) 13:30~16:30	3	可児市国際交流協会	20	先進地視察	・可児市国際交流協会の日本語教室視察 ・可児市国際交流協会日本語教室関係者と質疑応答、意見交換	近藤	-				

(1) 特徴的な活動風景(2~3回分)

○取組事例①

【第3回 平成30年9月22日】

講師にグローバル人材サポート浜松代表の堀永乃氏を迎えて開催。「地球人ネットワークinこまがね」のボランティアより、ボランティア、学習者双方が共通の目標が持てず、モチベーションの低下を危惧する声があったため、目標設定の具体的な方法や、学習の進捗管理の重要性や方法について講義をいただいた。実際にワークシートを用いて、模擬的に講義内容を実践することで、受講した内容を即現場に反映させることができた。



○取組事例②

【第9回 平成31年3月3日】

春原運営委員の紹介で、日本語教育の先進事例である可児市国際交流協会の日本語教室を視察した。参加者は市職員、運営委員、ボランティアなど20名。人口規模や人口に対する外国籍住民の割合は駒ヶ根市とは異なるが、実際の日本語教室の優良事例を視察することで、今後の教室運営の参考となった。また、視察の後に質疑応答や意見交換の時間を設け、教室運営のことのみならず、組織の運営等についても学ぶことが多かった。



(2) 目標の達成状況・成果

昨年度(9回開講延べ受講者数96人)より受講者の延べ人数、実人数共に増加し(8回開講延べ受講者数115名、実受講者数44名)、新規のボランティアを育成することができた。企業や、保育士の受講もあり、日本語教育についてはもちろんであるが、多文化共生の理解も深まった。関井講師からは日本語の体系的な理解、堀講師からは学習者とボランティアのモチベーション向上の手法について学習するなど、多様なテーマの講座を開講することで、講座の参加を促した。

また、先進地事例の視察を行い、他団体の日本語教室の運営方法を学び、今後の日本語教室の運営の参考となった。

(3) 今後の改善点について

多様なテーマの講座を開き、受講者が増加したことにより、新規のボランティアの獲得はできたが、既存のボランティアのスキルアップという点では少し不足していた。新規ボランティア向けと既存ボランティア向けと講座を分けることにより、より効果的でどちらも参加しやすい環境を整えることが求められる。

＜取組5＞											
取組の名称		日本語学習発表会									
取組の目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民との交流の中で母国及び自分自身をPRする。</li> <li>・地域住民への活動発信の場とし、日本語学習の必要性を地域住民に理解してもらう。</li> <li>・発表会を設けることで、受講者の語学力向上を図る。</li> </ul>									
取組の内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日ごろから日本語教育に関わりがない市民にも声をかけ、学習者による日本語発表会を行った。</li> <li>・本取組に参加する外国籍住民とボランティアに、準備段階からの参加を促した。</li> <li>・ボランティア以外の地域住民にも参加してもらい、交流を促した。</li> </ul>									
<input type="checkbox"/> 空白地域を含む場合、空白地域での活動											
取組による体制整備		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地球人ネットワークinこまがね」、長野県看護大学、JICA駒ヶ根、駒ヶ根協力隊を育てる会等の本事業と連携する諸団体から参加者を募り、受講者の日本語習得の成果を確認した。</li> <li>・本事業の関係団体がまとまることで、それぞれの取組の成果と課題を共有し、更に連携していく体制構築の契機とした。</li> </ul>									
取組による日本語能力の向上		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本人に向かって発信することを目的としているため、日本語力が向上した。</li> <li>・発表の場を設けることで学習の意欲につながった。</li> <li>・初対面の地域住民と接する機会となるので、日本人とコミュニケーションをとる練習になった。</li> </ul>									
参加対象者		・本事業の全取組に関係した外国人、ボランティア、関係者				参加者数 (内 外国人数)		72人(39人)			
広報及び募集方法		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市のウェブサイト、フェイスブック、広報紙での情報発信</li> <li>・各種イベントでの情報発信</li> </ul>									
開催時間数		総時間 1.5時間				内訳 1.5時間 × 1回					
主な連携・協働先		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地球人ネットワークinこまがね」・JICA駒ヶ根青年海外協力隊訓練所</li> <li>・長野県看護大学 ・駒ヶ根協力隊を育てる会 ・ロータリークラブ</li> </ul>									
受講者の出身 (ルーツ)・国別内 訳(人)		中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	タイ	インドネシア	ペルー	フィリピン	日本
		1	0	6	10	0	3	2	4	6	33
※該当する場合のみ		ミャンマー(2人)、スリランカ(2人)、モロッコ(1人)、カンボジア(1人)、アメリカ(1人)									
実施内容											
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修のテーマ	授業概要	講師・指導者名	補助者・発表者・会議出席者等名			
1	平成31年3月3日(日) 14:00~15:30	1.5	駅前ビルアルバ	72	日本語スピーチ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各曜日の教室の紹介</li> <li>・学習者による日本語でのスピーチ</li> </ul>	-				

(1) 特徴的な活動風景(2~3回分)

○取組事例①

【第1回 平成31年3月3日】

各曜日のクラスごとに代表者がスライドを用いて教室の内容を紹介し、学習者全員がショートスピーチ(1分~1分半)を披露した。スピーチ内容については教室の授業内に作文し、ボランティアが添削等の支援を行った。



(2) 目標の達成状況・成果

教室では会話や文法、語彙や漢字の学習がメインで、スピーチを行うことがないため、学習者にとっては新鮮な体験であった。JICA駒ヶ根訓練所の所長やロータリークラブのメンバー、一般市民も聴講し、学習者のひたむきな学習姿勢に感激する人もいた。ボランティアにとっても良い刺激となった。

(3) 今後の改善点について

発表会終了後、学習者のモチベーションは結果的に向上したが、コンテストに賞などを設定することで準備段階からモチベーションが上がるような仕組みを設ける。聴講したロータリークラブの役員から協賛の話もあったため、これらの活用も検討する。

#### 4. 事業に対する評価について

##### (1) 事業の目的・目標

市及び市民団体が運営する日本語教室の連携と質の向上を図り、効果的な日本語教育環境を構築することで、日本語を母語としない外国籍住民が日本語を習得し、地域住民とコミュニケーションをとることができるようになることで、地域住民と外国籍住民とが円滑な市民生活を送る。講座を通じて地域住民と外国籍住民の接触の機会を創出することで、外国籍住民の孤立を防止し、相互の生活や文化の理解を図り、安心して住むことができる多文化共生のまちづくりをめざす。

##### (2) 目的・目標の達成状況・事業の成果

取組4「日本語教育ボランティア人材・組織の育成」を通じて、ボランティアのスキルの向上や、教室の効果的な運営が図られた。アンケートからは9割以上の学習者が自身の日本語能力が向上したと回答しており、取組1「地球人ネットワークinこまがねによる日本語教室」の成果が表れている。また、10割の学習者がもっと日本語能力を向上させたいと回答している。取組3「公民館で地域住民と学ぶ日本語教室」や取組5「日本語学習発表会」など、外国籍住民と日本人の交流の機会を多く設けることで、日本人ともっと意思の疎通を図りたいと感じたことも一因と考える。また、取組5「日本語学習発表会」や取組4のボランティア講座にはこれまで日本語教育に縁のなかった地域住民の参加を促したことで、地域住民の多文化共生に対する理解を深めることもできた。

##### (3) 地域の関係者との連携による効果、成果等

日本語教室先進地視察を行ったことで、当市の日本語教室の運営を見直す機会となった。JICA青年海外協力隊訓練所の訓練メニューの一つが当市の日本語教室となったことで、新たな視点加わり教室が活性化された。公民館講座では長野看護大学の学生が企画、運営を行い、学生にとっても多文化共生看護学の良い学びの場となった。今年度、初めて企業の外国人労働者担当が日本語教室ボランティア講座に参加したことや日本語教室発表会にロータリークラブの役員が参加したことなどにより、今後の民間企業との連携を進めるきっかけとなった。

##### (4) 事業実施に当たったの周知・広報と、事業成果の地域への発信等について

取組1「地球人ネットワークinこまがね」による日本語教室の開設」の案内を、当該団体と市のホームページに掲載。リーフレットを作成し、市の住民窓口や様々なイベントで配布することで日本語教室の周知を図った。  
取組2「生活情報学習教室」について、市在住の外国籍住民全員に郵送でチラシを送付。市のホームページに広報紙に掲載し周知を図った。  
取組3「公民館で地域住民と学ぶ日本語教室」について、市のホームページに掲載。公民館にチラシを設置し周知を図った。  
取組4「日本語教育ボランティア人材・組織の育成」の日本語教育ボランティア講座について、市のホームページと広報紙に掲載し周知を図った。  
取組5「日本語学習発表会」について今年度関係した機関に招待状の送付とプレスリリースで周知を図った。また、発表会当日はマスコミの取材をお願いし、新聞に掲載されるなど、当事業の成果を地域に発信することができた。

##### (5) 改善点、今後の課題について

これまで、日本語教育市民ボランティア団体「地球人ネットワークinこまがね」の日本語教室はマンツーマン指導を基本としてきたが、外国籍労働者の増加により、日本語学習者も増加し、マンツーマンでの対応が困難になってきている。日本語教室先進地で視察したグループ指導の導入するなど教室の運営方法を検討する必要がある。また、外国人労働者が教室に加わったことで、教室の雰囲気が変わってしまい、足が遠のいてしまった既存の学習者もいることから、学習者の目的に合わせた学習メニューを考える必要がある。  
日本語教育ボランティア研修により、ボランティアも増加したが、学習者の増加に追いついていない。更なるボランティア獲得の必要がある。  
外国籍住民を雇用する企業と情報交換を進め、今後の日本語教室の在り方について、整理する必要がある。  
新たなボランティアはもちろんのこと、既存ボランティアも自信をもって学習支援が行えるよう、ボランティア研修の実施方法について見直しを行う。

##### (6) その他参考資料

- ・「地球人ネットワークinこまがね」の日本語教室案内リーフレット
- ・取組2「生活情報学習教室」多文化共生の第一歩チラシ